

「まなびの広場」は那須教育事務所ホームページに掲載されます。
http://www.pref.tochigi.lg.jp/m56/system/desaki/desaki/nasu-kyouiku01.html

毎月第3日曜日は「家庭の日」

ふれあいの丘天文館

ふれあいの丘天文館は、地域の人たちに宇宙の広さや素晴らしさを体験してもらう施設です。県内屈指の大望遠鏡で、迫力ある月や惑星、星雲星団の観望が体験できます。

【秋の主なイベント】

- 10月1日(木) 午後8時10分～午後9時
「中秋の名月」を望遠鏡で見る
- 10月3日(土) 午後1時30分～午後9時
「7時間かけて惑星8つすべて見せます」
- 10月6日(火) 午後8時10分～午後9時
「火星大接近!!火星の様子がみえるかも」

※詳細は下記までお問い合わせください。

大田原市福原 1411-22 ☎0287-28-3254



那須野が原博物館 展示案内

収蔵資料展示「写真」を開催します。明治期から昭和期にかけて、那須塩原市内で撮影された写真を中心に展示し、産業・交通・街並みなどの移り変わりから地域の歴史をたどります。

また、写真とあわせて歴史資料や民具などを展示し、当時の人々のくらしの様子を探ります。

○開催期間 10月10日(土)～来年4月11日(日)

※新型コロナウイルス感染症により予定を変更する場合があります。



那須の子ども塾・夏

8月1日(土)に、那須町文化センターで「那須の子ども塾・夏」が開催されました。子どもたちに、様々な体験活動をしてもらうこの事業、午前の部、午後の部、合わせて34人の子どもたちが、クラフト・世界のボードゲーム・フラワーアレンジメント・サイエンスの4つを班別に体験しました。感染症対策として、受付時に消毒と検温を実施し、各体験の合間も換気と消毒をこまめに行いました。子どもたちは、初対面の子も多く、最初は緊張していましたが、初めての体験をみんなと共にしたことで打ち解けていき、新しくできた友達と4つの体験を楽しんでいました。



家庭教育支援プログラム指導者研修会

8月28日(金)に、家庭教育支援プログラム指導者フォローアップ研修を開催しました。

親学習プログラムの理解を深め、プログラムの効果的な活用とファシリテーション技術の向上を目指すことが目的です。さらに、今年は「新しい生活様式」に対応した学習プログラムの体験を中心に、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら研修を進めました。参加者からは、「9月以降の子育て講座の中で、活用したい」「コロナ禍でも、新しい生活様式を意識しながら、情報を発信していきたい」など、研修を前向きに捉えたふりかえりが多くありました。



がんばる学校・地域！応援プロジェクト



モデル校の大田原市立湯津上小学校・那須町立那須中学校は、以前より様々な地域連携活動に取り組んでいます。両校とも、新しいことを始めるのではなく既存の活動を生かし実践していくことをモットーに、本プロジェクトの目的である「社会に開かれた教育課程の実現」に向け取り組んでいます。

大田原市立湯津上小学校

学校と地域の「パートナー関係」を築くことを目指し、学校側の体制を整えることに重点を置いて、取り組んでいます。

そこで、教職員を対象に、地域連携について共通理解を図ることを目的とした研修会、地域と協働して取り組めそうな活動について考えるワークショップを実施しました。

ワークショップの内容は次のとおりです。

テーマ「学校から地域に発信！！」

～地域とつながろう～

- ① 既存の活動等も参考に、「できそうなこと」「やってみたいこと」についてアイデアを出し合う。
- ② 出たアイデアを「すぐできそう」「時間がかかりそう」に分類する。
- ③ 「すぐできそう」に分類したもので、実現できそうな取組について考える。

ワークショップでは児童が、地域のおじいちゃんやおばあちゃんを見守る「逆見守り隊」や、湯津上地区のいいところをPRする「看板づくり」等、様々なアイデアが出されました。

今後はこれらのアイデアを基に、新しい生活様式も考慮しながら、実施に向けて準備を進めていく予定です。



那須町立那須中学校

学校の特色である「水曜講座※」の充実を目標にプロジェクトに取り組んでいます。

8月27日には、水曜講座を運営する学校運営協議会の委員を対象に、研修を実施しました。

研修の内容は次のとおりです。

- ① 3年生の総合的な学習の時間の発表会参観
テーマ「廃校を利用した地域づくり」
- ② 3年生と学校運営協議会委員との座談会
- ③ 水曜講座の企画・運営について

発表会や座談会を通して、生徒たちの思いを知ることができたことは、学校運営協議会委員が学校運営を考える上で、大変参考になりました。



また、それらの内容を参考にしながら、水曜講座の企画や運営について話し合うことで、生徒の意見や地域の思いをより反映することができました。

※那須中学校独自で実施している、中学生版放課後子供教室。水曜日の部活動のない放課後の時間を利用して、学校運営協議会が主体となり実施しています。

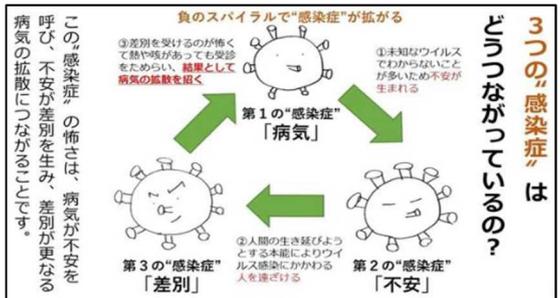


ふれあい人権のまど



新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、社会が大きく変わりました。この新型コロナウイルスが怖いのは、**3つの「感染症」という顔**を持って、知らず知らずのうちに私たちの生活に影響を及ぼしていることです。第1の「感染症」は病気そのものです。第2の「感染症」は不安と恐れです。わからないことが多いため、私たちは強い不安や恐れを感じ、ふりまわされてしまうことがあります。第3の「感染症」は嫌悪・偏見・差別です。特に、先の見えない不安や恐怖から、**新型コロナの罹患者、医療従事者や家族等への差別や偏見という大きな問題**が起こっています。

第1の「感染症」をふせぐために	手洗い
	咳エチケット
	人混みを避ける
第2の「感染症」にふりまわされないために	気づく力を高める
	聴く力を高める
	自分を支える力を高める
第3の「感染症」をふせぐために	確かな情報を広める
	差別的な言動に同調しない
	すべての方々にねぎらいと敬意を払う



このウイルスとの戦いは、長期戦になるかもしれません。**それぞれの立場でできることを行い、みんなが一つになって負のスパイラルを断ち切りましょう。**